

事例番号:290216

## 原因分析報告書要約版

産科医療補償制度  
原因分析委員会第四部会

### 1. 事例の概要

#### 1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

#### 2) 今回の妊娠経過

特記事項なし

#### 3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 4 日

11:15 陣痛発来、破水のため入院

#### 4) 分娩経過

妊娠 38 週 4 日

13:22 経膈分娩

#### 5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 4 日

(2) 出生時体重:2654g

(3) 臍帯血ガス分析(血液の種類は不明):pH 7.256、PCO<sub>2</sub> 44.2mmHg、  
PO<sub>2</sub> 28.8mmHg、HCO<sub>3</sub><sup>-</sup> 19.0mmol/L、  
BE -8.1mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 9 点、生後 5 分 9 点

(5) 新生児蘇生:実施せず

(6) 診断等:

生後 5 日 異常なく退院

生後 3 ヶ月 健診で頸定不良指摘

生後 6 ヶ月 発達遅滞みられる

2歳3ヶ月 弛緩型脳性麻痺と診断

(7) 頭部画像所見:

3歳9ヶ月 頭部MRI:先天性の脳障害および、低酸素・酸血症を示唆する所見(大脳基底核・視床に明らかな信号異常)を認めない

**6) 診療体制等に関する情報**

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1名

看護スタッフ:助産師 1名

**2. 脳性麻痺発症の原因**

妊娠経過、分娩経過、新生児経過に脳性麻痺発症に関与する事象を認めず、脳性麻痺発症の原因は不明である。

**3. 臨床経過に関する医学的評価**

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

妊娠38週4日、破水のため入院としたこと、および分娩経過中の対応(内診、分娩監視装置装着、抗菌薬投与)は一般的である。

3) 新生児経過

新生児管理は一般的である。

**4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項**

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

### 3) わが国における産科医療について検討すべき事項

#### (1) 学会・職能団体に対して

脳性麻痺発症に関与すると考えられる異常所見を見出すことができない事例を集積し、疫学調査や病態研究等、原因解明につながる研究を推進することが望まれる。

#### (2) 国・地方自治体に対して

なし。